

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42353
 アドレス:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成22年5月31日

リコール届出番号	2547	リコール開始日	平成22年5月31日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 代表取締役 伊東 孝紳		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-086819	
不具合の部位（部品名）	①速度計（スピードメーターケーブル） ②制動灯（後輪用制動灯スイッチ）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①スピードメーターケーブルを保持するクリップの加締めが不十分なため、サスペンションが伸縮するとケーブルを保持出来ないものがある。そのため、ケーブルがクリップから外れ、駐車時にハンドルを左に止まるまで操作すると、ハンドルストッパー部に噛込んで折損し、速度計が作動しなくなるおそれがある。 ②後輪用制動灯スイッチのスイッチケースの成型が不適切なため、内部の可動接点が作動領域を超えて戻らなくなり、制動灯が常灯となるおそれがある。また、そのままの状態で使用を続けると、制動灯の電球ソケットが溶損して導通不良となり、点灯しなくなるおそれがある。			
改善措置の内容	①全車両、スピードメーターケーブルを新品と交換するとともに、ケーブル保持クリップを正しく加締める。 ②全車両、制動灯の点灯状態を点検し、常時点灯または点灯しない場合は、後輪用制動灯スイッチを良品と交換するとともに、制動灯の電球ソケットおよび電球を新品と交換する。それ以外の場合は、制動灯スイッチを良品と交換する。			
不具合件数	①50件 ②41件	事故の有無	①②なし	
発見の動機	①②市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールまたは直接訪問で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車台番号付近にNo.2547のステッカーを貼付する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ホンダ	EBJ-JA07	スーパーカブ 110	JA07-1004549～JA07-1007129 平成21年8月25日～平成21年12月14日	2,580	②
		スーパーカブ 110P	JA07-1006929 平成21年11月2日	1	②
		スーパーカブ 110PRO	JA07-3000006～JA07-3001496 平成21年9月29日～平成22年2月19日	1,491	①1,491 ②903

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対 象車の台数	備 考
ホンダ	EBJ-JA07	スーパーカブ 110MD	JA07-3080009～JA07-3091572 平成21年9月28日～平成22年2月10日	11,564	郵政専用 車両 ①11,564 ②6,957
	(計1型式)	(計4車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成21年8月25日～平成22年2月19日	(計15,636台)	①13,055台 ②10,441台

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。